

西原村議会だより【ゆうすい】

Yûsui

第122号 令和3年8月5日発行



NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI



No.122

2021.8.5

CONTENTS

- ◆ 6月定例会／P2～3
- ・ 令和3年度
一般会計予算執行状況
令和3年度
一般会計補正予算 質疑応答
- ◆ 一般質問／P4～9
- ・ 元西原村長故山本佐吉氏の銅像建設について
移住定住促進について
村内へ小児科医院の誘致はできないか
農作業機でナンバープレートをつけても
公道を走行できない車輛は
西原村社会福祉施設のぎく荘について
療育（発達支援）について
- ・ 避難道路整備などの管理体制は
どうなっているのか
- ・ 避難道路の役目も果たしている
私道の整備改修は
- ・ 新型コロナワクチン接種への進展状況と課題は
- ・ 村外からの移住対策と、
思いやり予算で村の人口増加対策を!!
- ・ 本村の公共施設の身障者トイレ、
多目的トイレの設置状況は
- ・ 新型コロナワクチン予防接種について
- ◆ 組合報告・よつていきなっせ／P10
- ・ 阿蘇広域行政事務組合報告
- ・ 高橋春圃先生伝によせて
- ◆ あんときの質問はどきちゃんだった／P11
- ◆ 職場からこんにちは・編集後記／P12

貴重な体験学習!!

水田除草作業を頑張る
河原小の子ども達



新型コロナウイルス感染症により 社会経済活動や住民生活の変化を踏まえた予算 令和3年度の 一般会計予算執行状況

6月
定例会

- ◆令和2年度一般会計継続費繰越額……………9億5,942万円
 - ◆令和2年度一般会計繰越明許費繰越額 ……14億2,229万円
 - ◆令和2年度一般会計事故繰越し等繰越額……………7,460万円
- ※繰越については、この頁下の説明文を参照。
- ◆令和3年度一般会計補正予算……………3,722万円を追加
歳入・歳出予算の総額50億8,501万1千円

6月8日から11日までの4日間の会期で開催された。令和2年度一般会計継続費繰越計算書・繰越明許計算書・事故繰越し計算書3件の報告。令和3年度一般会計補正予算他議案5件、承認6件、同意2件、諮問1件を審議し全て可決承認した。10日には6名の議員が一般質問を行い村政を質した。

主な歳出

- ★役場庁舎空調設備改修工事設計委託料……………629万円
- ★子育て世帯生活支援特別給付金……………635万円
- ★にしはらオーガニックセンター修繕費……………364万円
- ★営業時間短縮要請協力金市町村負担金……………290万円
- ★万徳新所線道路改良工事……………2,100万円



熊本地震で損傷した役場空調設備

《その他の議案》

- ◎議案第45号 工事請負契約の締結について
- ★西原中学校給食室・ランチルーム改築工事
契約金額 3億7,840万円



改築が待たれる西原中学校給食室・ランチルーム

継続費とは？(報告第1号) ……2か年度以上にわたる事業等を実行するにあたり、支出すべき総額及び年度割についてあらかじめ議会の議決を経て数年度に渡って支出することが可能となった経費をいいます。

繰越明許とは？(報告第2号) ……何らかの事由により、当該年度に支出が終わらない見込みのもの、又は予算成立後の事由等により年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を経て、翌年度に繰り越して使用できる制度をいいます。

事故繰越とは？(報告第3号) ……予算成立後に発生した避けがたい事故事情により、年度内に事業が完了しなくなった場合に予算を翌年度に繰り越して使用できる制度をいいます。

令和3年度一般会計補正予算から
質疑応答



豪雨で被災した農地

【問】子育て世帯生活支援特別給付金の詳しい説明を。

【住民福祉課長】新型コロナウイルス感染症の長期化により低所得の子育て世帯に対して、給付金を支給して生活支援を行うもの。

【問】梅雨入りして農地・農道・水路等に災害が発生した時の農家の負担金は。

【復興建設課長】昨年度の場合で言えば、激甚災害で農地が96.5%と施設が99.1%、激甚災害でなかった場合農地86.4%、施設96.7%が補助で残りが受益者負担金となった。

【問】マイナンバーの申請に行ったら担当者が役場の奥の見えない所で作業をされて不安を感じるのと事だが。

【住民福祉課長】重要な手続きのため、担当職員以外には見えないように行っていたが、配慮が足りなかった。今後は皆さんが不安にならないように指導していく。

【問】営業時間短縮要請協力金市町村負担金の説明を。

【企画商工課長】5月16日から29日間、蔓延防止関係で時短要請を県が飲食店等へ出している。これに協力された事業所に最低1日2万5千円から7万5千円の協力金が支払われる。

【問】各学校のタブレットを今後持ち帰って学習するようになるが、学校の情報漏洩につながるはしないか、心配であるが。

【教育課長】セキュリティをかけているので、漏洩はないと思う。

【問】白糸の滝の支障木の伐採計画はあるのか。

【企画商工課長】今回伐採の予算を計上したが、糸舞季の近くにも倒木やカスラ等で景観が悪いところもあるので、適切な管理を行っていく。



白糸の滝支障木

《報告第2号関連》

【問】国の国土強靭化計画の加速化対策関連事業はいつまで継続されるのか。

また、村道はすべて事業対象となるのか。

【復興建設課長】令和3年から7年度までの5ヶ年で計画されている。また、村道は強靭化計画に基づく取組一覧に明記されていない場合は対象とならない。

《承認第2号関連》

【問】新型コロナウイルス感染症による村税の減免・徴収猶予の申請はあっているのか。

【税務課長】徴収猶予については、固定資産税1件、法人住民税2件、減免については、令和2年度固定資産税16件、令和3年度は65件の申請が上がっている。猶予制度については今後も周知を図っていく。

《議案第40号関連》

【問】西原村役場で押印を簡素化した課また書類は。

【税務課長】税務署長等に提出する国税書類（実印・印鑑証明書等）を除き押印義務を廃止した。

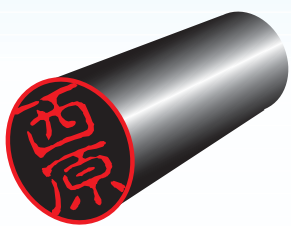
【住民福祉課長】戸籍の届書は国の法律なので従来のとおり。住民票・戸籍の交付申請書・医療費の助成等については署名があれば押印は不要。

【教育課長】従来どおり押印を頂いている。

【産業課長】国に準じた形で押印を求めている。

【企画商工課長】今のところ押印省略は行っていない。

【復興建設課長】災害の被害届、原材料支給の申請書については、直筆のサインで行っている。



Questions

上野 正博 議員

一般質問

元西原村長故山本佐吉氏の銅像建設について

村 長 / 令和4年度当初予算に計上し、年度内に建設できるよう取組んでいきたい。

移住定住促進について

村 長 / いろいろな事例を参考にしながら検討したい。

元西原村長

故山本佐吉氏の

銅像建設について

内経済の活性化や人口増加にも繋がっている。銅像建設については前向きに検討したい。

移住定住の

促進について

【上野】山本元村長は一人目の名誉村民の称号を授与され、銅像建設については、平成23年度例会で議決され予算化迄されたが、事情により建設断念に至った経緯がある。数多く業績を残され、中でも昭和63年豪雨災害による河原地区木山川氾濫により、50億円に上る被害を受け懸命に復興に尽くされたことを記憶している。また経歴では教育長14年間、村長16年間、本村の為に奮闘され、平成9年には勲五等双光旭日章を受章されている。再度銅像建設を望む

【村長】山本元村長は本村の発展にご尽力された方で多くの功績を上げられた。一つ上げるとすれば、公約として農工併進の村づくりが掲げられ、鳥子、小森両工業団地の造成に取り組み、平成22年の経済指標ランキングで全国市町村の中で西原村が一番伸び率が高いと紹介されている。村

【上野】前向きに検討するとう事であるが平成24年度当初予算で可決されているので建設できる準備が整っていたものと考えている。来年度当初予算での計上と建設計画をできないか。

【村長】銅像建設については、震災後多額の寄附をいただいた、山西団地に設置された故富永重芳様の胸像を参考にしながら令和4年度当初予算に計上し、年度内に建設できるよう取組んでいきたい。

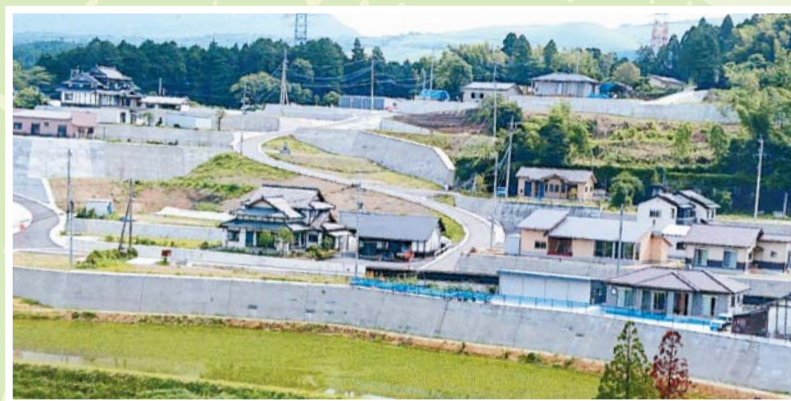


故山本元村長が授与された勲五等双光旭日章

【上野】熊本地震からの復興も早く6集落再生事業の竣工式を終え、利便性に満ちた自然豊かな住宅環境整備ができた。空地解消のため、若い世代の移住者呼び込む為の建築補助金等の支援はできないか。

【村長】こう言った支援策は他の自治体でも行われている。益城町では地域を限定して補助金100万円が段階的に支給されている。甲佐町は定住促進指定団地の土地を購入し、新築した場合、年齢と扶養親族に制限があるが、段階支給で100万円となっている。いろいろな事例を参考にしながら検討したい。

【上野】本村は自然に恵まれた住宅地として最適で魅力ある村づくりを進めてもらいたい。検討されるとう事であれば金額はどの位を考えておられるか。



再建が待たれる住宅地

進めていきたい。私案だが、河原校区限定で活性化を図り河原小学校の複式学級解消策として20代、30代の若い夫婦を対象に100万円を段階的に条件付きできればと思っている。



堀田 直孝 議員

村内医療の充実について

科系の医療機関は337あるが、小児科のみの医療機関は28医療機関しかない。

【堀田】長年開院されていた永広医院が閉院され、村内には、のむら内科クリニックのみになる。村として村医・園医・校医・産業医など委託しているが、村が行う健診業務の医療体制は大丈夫なのか。

【村長】村医・校医・園医については野村先生と協議を行う。難しいようであれば、阿蘇郡医師会や近隣医師会、近隣町村の開業医の先生方と協議し、今後の対応を検討していく。

【堀田】乳幼児を持つ若いお母さん方から、小児科の先生に本村に開業してもらえないか。との要望が数多くあるが如何か。

【村長】民間の医療機関が開業するにあたり考慮しなければならぬ一つとして、経営が成り立つ立地環境であるか。また、小児科・耳鼻咽喉科・眼科の開業医が近年減少傾向にあり、県内に小児

科系の医療機関は337あるが、小児科のみの医療機関は28医療機関しかない。

本村医療対象者0歳から15歳まで981名、令和2年何らかの医療機関受診者942名。診療回数2,956回、約5割の子供が小児科系の医療機関を受診している。

今後、時間をかけて、アンテナを高くして検討していく必要がある。



村医による新型コロナウイルス予防接種

農業機械の安全対策について

【堀田】令和元年に道路運送車両法改正により農耕トラクタに耕運ロータリー・肥料散布機等を装着したまま公道走行が可能になり、村・JA等での周知を行われたが、まだ、理解されていない方がおられると思うが。

【村長】前回の一般質問を受け、周知を図り多くの農家の方が大型特殊免許を取得され、一定の周知が図れた。

【堀田】2月の広報西原で小型特殊自動車(トラクタ・肥料散布車・コンバイン・田植機)はナンバープレートの交付を受けて下さい。しかし、田植機はナンバーを付けても公道は走行できないと記載されていた。一般人には解りにくいと思うが。

【税務課長】田植機は道路を走る上では、道路運送車両法の保安基準を満たしていないため走行できない。広報では解りづら

った。今後検討させていただく。

【堀田】道路運送車両法でナンバープレートを登録しても公道運転できない車両があるとのことだが、知らずに運転し交通事故をおこすと大変なことになる。また、最近トラクタの事故を頻繁に聞くが、これらの事故対策はあるのか。

【産業課長】年に2回、農繁期には広報西原で農作業事故に注意喚起の記事を掲載している。各部会総会等においても事故防止について二言は述べている。

各部会に所属していない系統外の方にも事故防止の啓発をしていく。



公道走行をできない田植機

村内へ小児科医院の誘致はできないか

村長 時間をかけて検討していく必要がある。

農作業機でナンバープレートをつけても公道を走行できない車両は

税務課長 田植機は公道を走行できない。



Questions

西口 義充 議員

一般質問

西原村社会福祉施設のぎく荘について

村 長 / 早急に改修する必要がある検討委員会を設置し進めたい!!

療育(発達支援)について

住民福祉課長 / 村内に相談事業所・通所事業所開設により

充実したサービス提供が出来ると考えている。

自然災害からの

取り組みについて

【西口】西原村の総人口に対しての高齢化の状況、高齢化率31.6%、今後5年間の高齢化率の推移も徐々に上がり34.5%と出ている。確実に増加傾向にある。今の福祉施設『のぎく荘』も運用から28年が経ち、使用面でも不便さが出てきている。高齢化社会に伴い、現在の施設では、今後益々手狭になると思われるが、どう考えておられるのか。

【村長】世代別人口を見ると、60歳から74歳の方が一番多く、村人口の4分の1位おられ、高齢化率も31.6%です。微増ではあるが年々上昇している。今後団塊の世代が後期高齢者となり、介護サービス利用者がさらに増えると思われる。建物の調査、施設の老朽化、設備の劣化を考慮し、早急に改修する必要があると考えている。



社会福祉施設「のぎく荘」

【西口】現在の平均利用者30名の方がデイサービスを受けておられる。社会福祉協議会ではデイサービスを初め地域住民の悩みの相談の支援、現在取組を進められておられる虐待等の福祉施設、障がい者支援、療育、災害時の避難支援等多岐にわたる。

今後施設利用の需要は多くなり、福祉施設としての機能は果たせるのか。

施設整備を進めるため、検討委員会の立ち上げを進めることは出来ないか。

【村長】今後早い段階で、検討委員会を設置し、関係機関部署と連携し検討を進めたい。又村の単独事業となるので、身の丈に合った整備を進めていきたい。

療育

(発達支援)について

【西口】現在村においても療育(発達支援)課題に取り組みされているが、今後の推進計画は、どのように進めるのか。

【住民福祉課長】現在村から社会福祉協議会に療育相談員を委託設置し、保護者や家族の相談を受けながら、将来の不安等の軽減を図る支援を行っている。また、早期療育支援に向けて、乳幼児健診の際に療育相談員に参加してもらい子どもの状態を



児童発達支援 多機能型事業所「かざぐるま」

早期に把握し、保護者との信頼性を高めるべく体制の充実を図っている。療育支援事業所について、これまで村外事業所等を活用していたが、村内において本年3月に相談支援事業所、4月には通所事業所が事業開始の運びとなった。村内に事業所が開設されたことによりサービス内容の確認、調整もしやすくなり充実したサービス提供が出来ると考えている。今後も相談体制、環境整備をしていきたい。

General

高本 孝嗣 議員

一般質問

避難道路整備などの 管理体制について

【高本】道路整備について、県道・村道・農道、里道など、道路には様々な道路がある。

県道は熊本県が村道は西原村が管理し、農道や里道については、その道路の受益者の方々が管理・整備されている。

通学路や普段使われていない地区内の避難道路整備などについて、どのような管理体制になっているか。

【村長】県、村道以外の通学路、避難路に関して、地区によっては区役のときに自主的に草刈りや道路清掃を行い、子ども達の通学の安全確保を自主的にされているところもある。



山西小学校運動場西の通学路

避難道路の役目を果たしている 一般私道の整備改修について

【高本】村道認定されていないが長年公衆用道路に利用され、熊本地震の時には高遊地区内の県道より高遊地区公民館（コミュニティセンター）に抜けている私道があり熊本地震時には避難道路としての役目を果たし、現在も様々な車両が行き交い、迂回路として役目も果たしている一般私道がある。

この様な道路を村の手によって整備改修の手を加えていただけないか。

【村長】村道認定されていない個人や企業、団体が所有する個人の私道に公金を使って整備することはできない。

村道認定に関しては、道路法に基づき幅員や勾配など様々な要件があり、どの道路でも村道にできるといわけではない。

【高本】私道復旧補助金の交付要項はあるが、50万円以上で



県道～高遊コミュニティセンター間私道

2,000万円以下の2分の1の補助となっており、一個人としての負担があまりにも多額になる。農道、林道と同様な、生コンやU字溝等現物支給ができないか。

【村長】村全体の私道を含めた公道、いわゆる皆が使う道路の復旧等、そういったことを含めて自身の検討をしなければならない。

避難道路整備などの管理体制はどうなっているのか

村長／地区によって自主的に草刈りや道路清掃を行い、子ども

達の通学の安全確保をされているところもある。

避難道路の役目も果たしている私道の整備改修は

村長／皆が使う道路について中身の検討をしていかなければならない。



Questions

中西 義信 議員

一般質問

新型コロナウイルスワクチン接種への進展状況と課題は

村 長／国からのワクチン供給計画が出来次第、早期接種完了を目指す!!

村外からの移住対策と、

思いやり予算で村の人口増加対策を!!

村 長／河原地区の問題として子育て支援の充実を図っていききたい。

待望のワクチン

接種状況を

【中西】コロナワクチン接種も本村において始まっているが、計画当初、優先接種者に社協や包括支援センター等の職員が入っていないかった。現在の接種状況及び今後の65歳以下の時期等全体的な流れはどうか。

【村長】65歳以上の希望者の接種を現在実施しており、7月末までの完了を目指している。

【保健衛生課長】今後の接種計画は今月中旬頃に国から発表があるので供給量と村の希望量を見ながら取り組む。

社協等の高齢者施設従事者に65歳以上の次に該当している。

福祉タクシー

の活用を!!

【中西】高齢者接種に際し、交通弱者や難聴者の方々への取り組みは。福祉タクシーのコロナ特別対策はできないか。

【村長】先日、河原校区活性化対策検討会議を開催した。「まずは分譲地を3〜5区画程、整備しては」との意見が多数あり、地元議員に数か所の候補地をお願いしている。

助成金に対しても、今後前向きに取り組んでいきたい。

河原地区への

取り組みを

【保健衛生課長】難聴者の方で筆談が必要な方が来庁されたので、配慮して予約を完了した。接種用往復タクシー券だが、5月7日から22日までの実績で36名の方が66回利用された。率にして27%だった。

【中西】村長の年頭の所見にもある河原地区の人口増対策で、助成金も含めて村主導で取り組めないか。

【村長】先日、河原校区活性化対策検討会議を開催した。「まずは分譲地を3〜5区画程、整備しては」との意見が多数あり、地元議員に数か所の候補地をお願いしている。

助成金に対しても、今後前向きに取り組んでいきたい。

思いやりのある

予算で人口増を

【企画商工課長】令和2年度の住宅新築用の合併浄化槽申請では、山西地区20件に対し河原地区は1件だった。

【中西】熊本地震前は緩やかであるが人口は増加していて、「人口対策」という言葉は死語に近かった。

復興もあと二歩となり、下げ止まっているが7千人になかなか届かない今、対策を講じるべきではないか。

そこで全国屈指の出生率の先駆的な岡山県奈義町の取り組みを少し。「出産祝い金、第1子10万円、第2子15万円、第3子20万円、第4子30万円、第5子以降40万円」他「不妊治療助成」「保育料多子軽減」「病児・病後児保育」等を町費から捻出して人口増対策を取られている。

手厚い予算で村長の想いである「西原村を選んで良かった」を

進めていただきたい。

【村長】本村の取り組みと重複もあるが、魅力ある制度作りも人口増への施策と認識している。上記の宅地開発と子育て支援の充実、両面の必要性を感じている。今後各部署と連携し、財政面を踏まえ検討していく。



楽しく遊ぶ園児達

【中西】6月4日に念願の村のPR動画も公開が始まった。長い目で見た予算編成を願う。

General

一般質問

尾崎 幸穂議員

本村の公共施設の身障者トイレ、多目的トイレの設置状況は？

【尾崎】本村公共施設の身障者トイレ、多目的トイレ、設置位置表示板の設置状況とそれらが無い施設への今後の設置予定は。

【村長】村内公共施設トイレ16ヶ所中、多目的トイレ8ヶ所、身障者トイレ5ヶ所、設置無し3ヶ所。建設中の体育館は1階、2階、運動公園の屋外トイレ2ヶ所すべて多目的トイレ設置予定。トイレ設置位置表示板の表示なしは2ヶ所。

【尾崎】役場には身障者トイレしかなく、お子さん連れの来庁者の方やおむつ替え等必要になった時はかなり不便だと思う。トイレの表示板もドアが開けっ放しになっていると隠れてしまいうので、トイレの場所がわからないと思うが対策は。

【総務課長】現在、身障者トイレなどがない施設や、役場のおむつ

替えシートなど今後改善を図っていききたい。また、視認性のよい表示板を見えるところに確保したい。



▲山河の館の多目的トイレ 一般質問後すぐに設置されたオムツ替えベッド▶



新型コロナウイルス 予防接種について

【尾崎】ワクチンの予約方法と問題点、キャンセルが出た時の対処法、年代ごとの接種状況は。

【保健衛生課長】現在は電話での予約のみ。当初は電話がかかりにくいなどのご指摘があったが65歳以上の予約に関しては回数数を倍にして2日目以降は改善した。今後はネットでの予約も行っていく。(現在はネットでも予約有り)



コロナワクチン接種会場

キャンセルが出た場合は役場ホームページにある通りまずは予約待ちリストの方へ連絡、時間的に間に合わない際は医療従事者、社協職員で対応している。

本村の公共施設の身障者トイレ、多目的トイレの設置状況は

総務課長 / 身障者トイレなどがない施設、役場のおむつ替えシート

視認性のよい表示板など今後改善を図っていききたい。

新型コロナウイルスワクチン予防接種について

保健衛生課長 / 予約電話回線数の増加や、今後ネット予約も行い、

キャンセルが出た場合にも適切な対応をしている。

《ワクチン接種状況》 令和3年7月20日現在

対象者(対象者数)	1回目		2回目	
	接種人数	接種率	接種人数	接種率
75歳以上(1,070人)	827人	77.3%	757人	70.7%
65歳以上75歳未満(1,165人)	950人	81.5%	588人	50.5%
12歳以上65歳未満(3,869人)	426人	11.0%	25人	0.6%
医療従事者	236人(うち住所外者15人)		183人(うち住所外者15人)	
住所外接種者	46人		13人	
合計 (6,104人)	2,424人	39.7%	1,538人	25.2%
	村外接種者231人		村外接種者168人	



阿蘇広域行政事務組合報告

組合議員／上野 正博

組合議会定例会が3月22日6議案の審議と空席となっていた組合管理者に、佐藤阿蘇市長と組合議長に、南小国町井上議員が選任されました。令和2年度一般会計・特別会計の補正予算については、一般会計予算額31億205万4千円、特別会計の養護老人ホーム『湯の里荘』は予算総額2億8,230万3千円で本村の負担総額8,113万7千円でした。令和3年度、当初予算は一般会計35億1,652万4千円、本村負担額5,491万8千円、養護老人ホーム『湯の里荘』は1億7,969万6千円で、本村負担額2,197万5千円、本村負担総額で7,689万3千円となっています。

組合費の負担割合については一般会計、し尿処理費は、人口割50%、搬入割50%、養護老人ホーム『湯の里荘』では、平等割30%、人口割70%となっています。養護老人ホーム『湯の里荘』には、定員50名のうち、本村から6名入居されています。湯の里荘、給食業務委託料については、既存の業者より大幅値上げの申請があったため、新規業者と1,270万円で契約いたしました。



養護老人ホーム「湯の里荘」



高橋春圃先生伝によせて

高橋春圃先生は、本村出身偉材の一人であります。

小城 保弘

今年、4月12日は、高橋春圃先生の153回忌の法要が、日向地区の方々が集まり、おごそかに営われました。先生は19世紀の始め江戸時代末期に、この西原村に生まれ、苦学して漢方医となり、後に蘭医に転ぜられました。大きな歴史の転換期に、保守すべきは保守しながら西洋医学を学び、特に種痘という最先端をいく西洋医術を初めて藩内に施行し、普及に努力され、また無告の民を助け、さらに、先生は一世紀以前に貧民救済、営農金、道路、水道、養老精神の高揚、養老会、生花の集いなど実施し、村内和楽、文化経済の向上、発展に努力されたと書き印されている。

現代社会においてもこの歴史の中で、日本でも代表する蘭医がおられたという事を誇りに思い、感謝して来た事がこの地、西原村の日向地区が150年間もの間、数世代にわたり時を超え神と崇め、年に一度の供養祭が欠かさず行われて来たと思います。

今後も、単に医学の面だけでなく、村民の誇り、西原村の偉人として、教育、文化、道徳高揚の面に見直され、いろいろな方面において、村民の中より、第二、第三、の高橋春圃先生が輩出されん事を切に、お祈りする次第であります。



日向地区で行われている年に一度の供養祭



あんどきの質問は NISHIHARA VILLAGE CONGRESSIONAL QUESTIONS どぎゃんなった?!

【質問内容】

- 村長答弁で災害に強い村づくりを進めていくとあったが何をされたか。

【答弁内容】

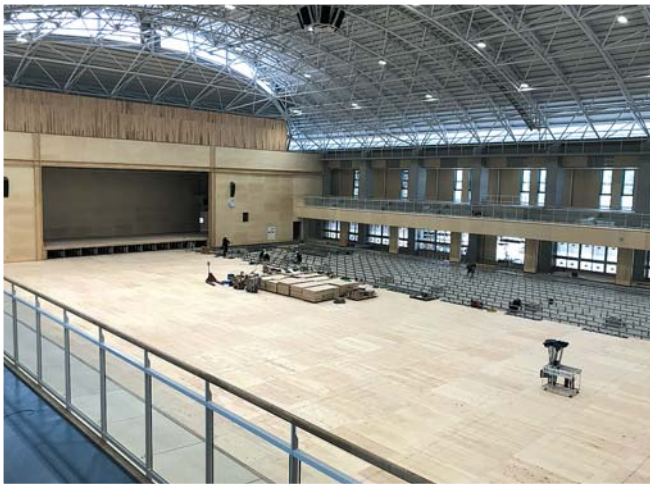
- 災害時緊急避難場所にもなる総合体育館建設及び防災公園で大人数収容できる設備と備蓄倉庫を建設中、来年には運営される。

《進捗》

- 避難道路の整備、及び橋梁点検と補修工事。

震災で壊れた道路・橋の補修工事。

村内全域で防災デジタル無線設置、河川の氾濫を監視するカメラを鳥子川・布田川・木山川に設置、役場総務課にモニターで監視、より早い状況把握と避難指示の発令が効果的に行えるよう「避難勧告発令支援システム」を導入、河川監視カメラ3か所、水位計と雨量計を2箇所ずつ設置した。



工事が進む総合体育館



橋梁点検作業（龍口橋）

役場庁舎内にある
河川監視モニター



【質問内容】

- 震災前の人口を取り戻す人口増計画は何をされているか。

【答弁内容】

- 空き地バンクの対策室を開設。

現状、登録できる土地が出てきていない。

河原地区人口増計画及び河原小河原校区活性化対策特別委員会と執行部にて活性化対策会議を行っている。

《進捗》

- 移住定住促進のPR

むらのキャッチフレーズ「水と緑とひかりのむら」を題材に村のホームページ及びYouTube等でPR動画の配信を行っている。

令和3年度から子ども医療費無料の助成年齢を中学3年生から高校3年生までに引き上げた。



西原村のPR動画



がんばろう!! 職場から SHOKUBA KARA KONNICHIIWA こんにちは

このコーナーでは、西原村活性化のため、村内で頑張っている方を今後も紹介して参ります。

にんにく・かぼちゃ・里芋・甘藷 ブルーベリー・くり・フェイジョア 栽培

丹生 幸宏さん



【現在の経営規模】

にんにく10畝・かぼちゃ40畝・里芋10畝・甘藷10畝
ブルーベリー10本・くり40本・フェイジョア38本

【将来の経営目標】

にんにく20畝・かぼちゃ40畝・里芋30畝・甘藷50畝
ブルーベリー30本・くり70本・フェイジョア55本

この度、就農に携わることになりました。高校、大学と農業に縁があったのですが、暫く農業から遠ざかっていた私にとって、うれしさでいっぱいです。スイゼンジノリの養殖の手伝いや、家庭菜園の手伝いをしたことにより、植物の生育に対する興味が非常に増してきました。農業は今、様々な面で大きな転換期にある気がします。作物の種類、経営規模、栽培方法、販路、等々。

これから、地元の農家の方や農業関係機関の方々のご指導を仰ぎながら、模範となるような農業を行い、村の農業に貢献したいと決意しているところです。よろしくお願い致します。

NEW FARMERS

編集後記

三密・クラスター・ソーシャルディスタンス・パンデミックなど2年前までは意味も分からなかった新型コロナウィルス関連用語。最近はこの単語を聞かない日はない。

現在は、外出制限、飲食店などの営業時間短縮、酒類提供の制限など一年半以上の不自由を強いられています。あたりまえでない生活を強いられて、あたりまえの生活が如何に幸せだったという事を再認識する昨今。

本村でも予防接種が5月から実施されており、この予防接種で新型コロナが終息することを願うばかりです。

文責／堀田直孝

広報委員

- 委員長 坂本隆文
- 副委員長 堀田直孝
- 委員 小城保弘
- 委員 高本孝嗣
- 委員 尾崎幸穂

発行責任者

- 議長 山下一義